

平成23年1月7日 第21回宮崎県地域健康推進研究会

県内保健所における特定感染症検査 の現状と対応についての検討

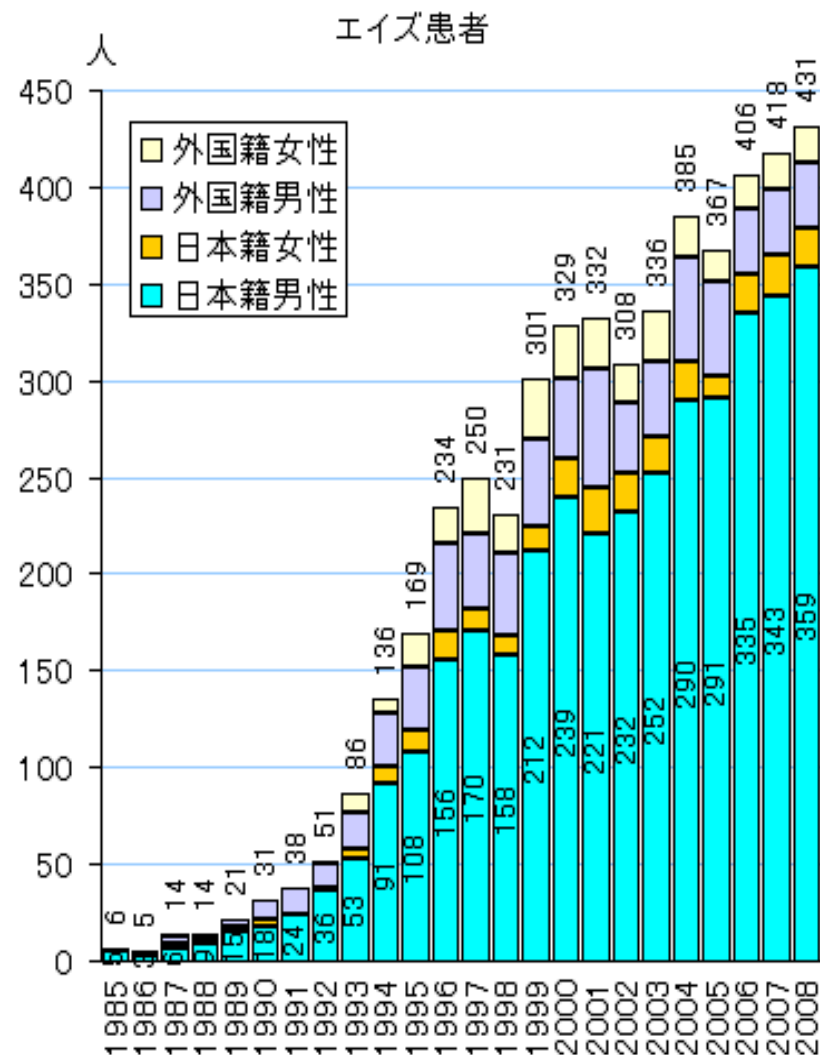
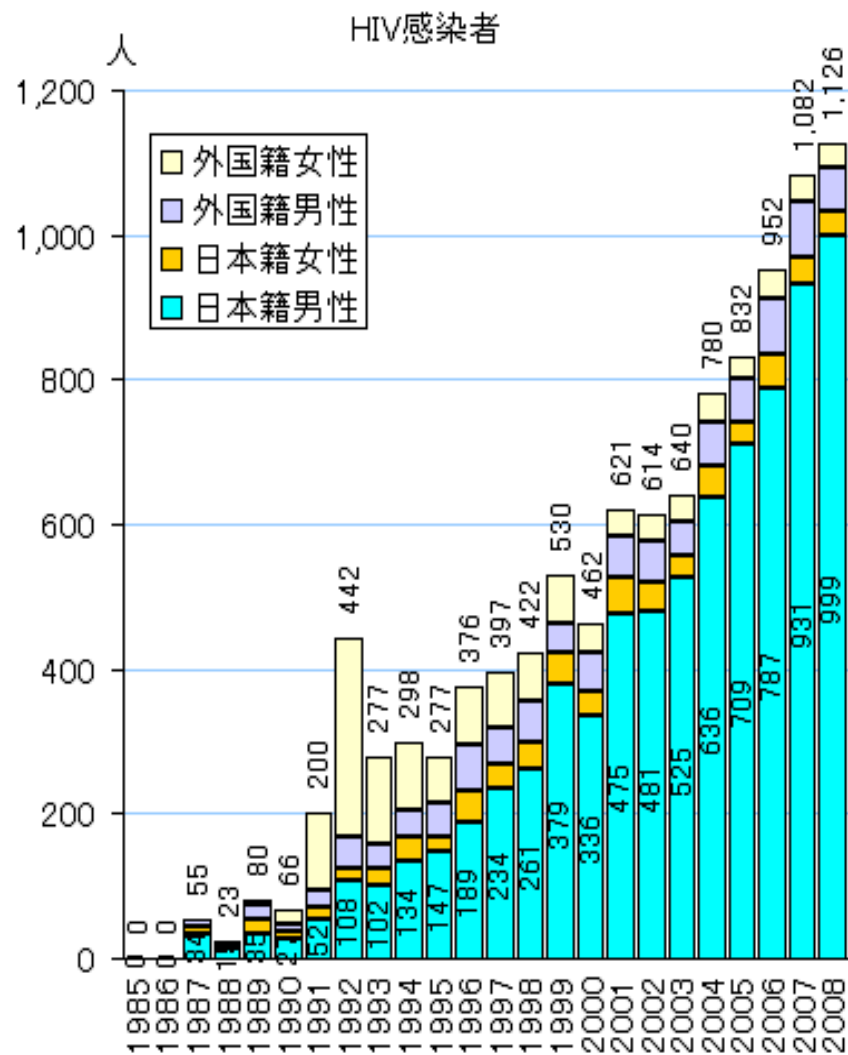
宮崎県中央保健所

重黒木真由美

特定感染症相談検査の経緯(宮崎県)

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 昭和62年2月 | 県保健所でHIV相談・検査開始 |
| 平成5年7月 | HIV抗体検査無料化 |
| 平成6年7月 | 「エイズほっとライン」設置 |
| 平成14年10月 | 県保健所でHIV夜間検査開始 |
| 平成16年12月 | 県保健所でHIV即日検査開始 |
| 平成17年10月 | 宮崎市保健所でHIV即日検査開始 |
| 平成19年6月 | 検査項目追加
(クラミジア、淋菌、梅毒、B型肝炎、C型肝炎) |

全国のHIV感染者およびAIDS患者(新規)



※凝固因子製剤による感染はこの報告の対象外

資料：厚労省 エイズ動向委員会「エイズ発生動向報告」

保健所におけるHIV抗体検査件数

10月夜間検査導入

12月 即日検査導入

6月 検査項目追加

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
宮崎県 ()は相談 件数	360 (1139)	315 (1114)	375 (1333)	421 (1502)	509 (1602)	818 (1095)	1017 (985)	1064 (1338)	982
全国	69925	49429	59237	68774	80899	93497	128819	146880	122493

【参考】

● 平成21年の新規HIV感染者1008人、新規エイズ患者420人

* 合計人数1,428人は平成20年の確定人数に比べ8%減少

● 宮崎県内のHIV感染者・エイズ患者状況 (○の数字は保健所の検査で判明)

	~H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	累計
HIV感染者 (人)	2	0	2 ②	1	1	5 ③	2 ②	3 ②	1 ①	1 ①	18 ⑪ 男15女3
エイズ 患者 (人)	1	2	1	1	2	2	1	1	0	2	13 男13女0

検査体制

◎検査実施日：週～隔週1回、日勤帯に実施

宮崎市、都城、延岡保健所のみ夜間検査も実施

◎予約方法など：主に電話予約、匿名、無料

◎検査項目・検査機関

検査項目	検査内容	検査機関
HIV	HIV抗体 (迅速診断:イムノクロマト法)	保健所 →陽性の場合は県衛環研でWB法等
性器クラミジア	淋菌・クラミジアトラコマチス 同時核酸増幅同定精密検査	外部委託(SRL)
淋菌		
B型肝炎	HBs抗原(CLIA法)	
C型肝炎	HCV抗体(第3世代/CLEIA法)	

検査の流れ

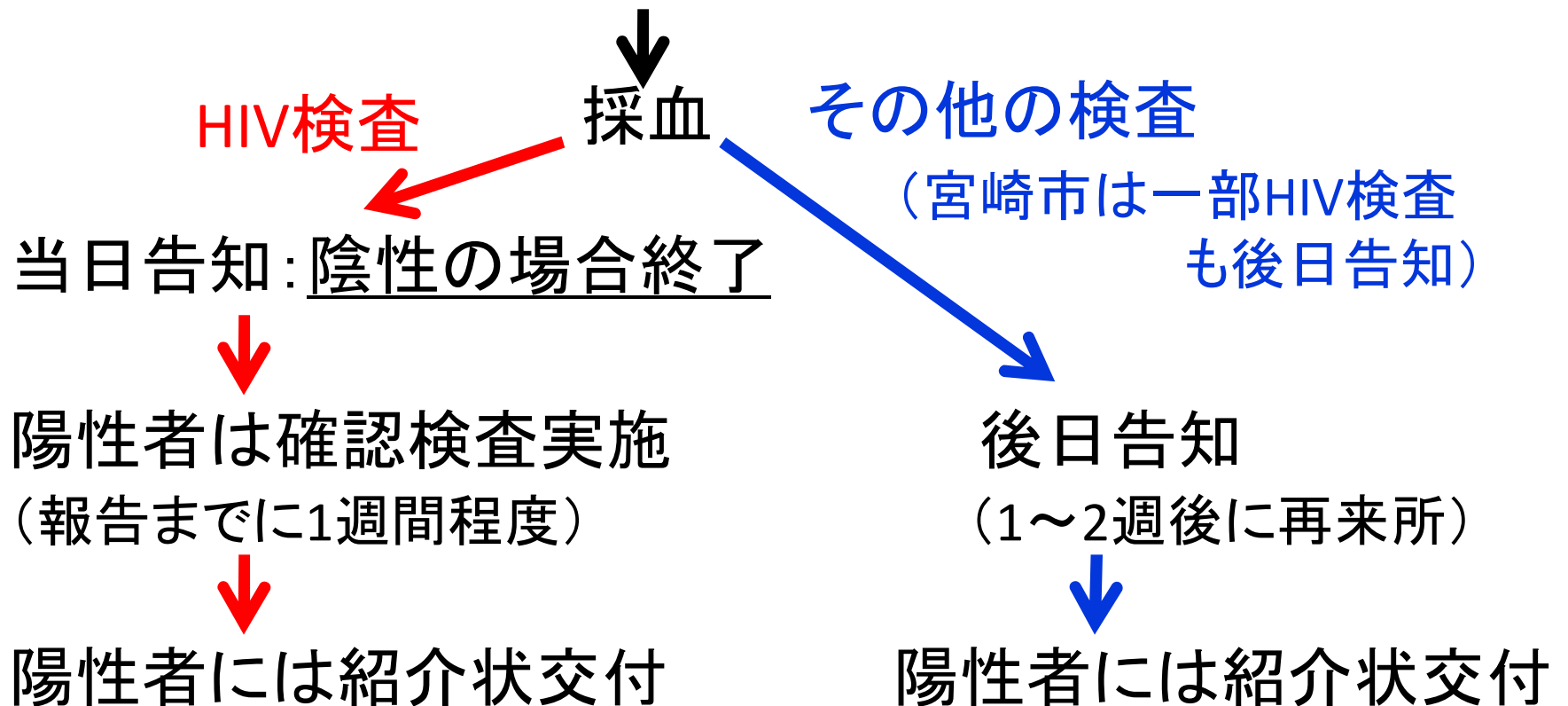
【検査前】

電話で予約

* HIV以外は結果告知のため再来所が必要なことを説明

【当日】

相談対応・面接指導など(検査項目最終確認)



問題点

- ① 来所せずに未告知の受検者がいるが匿名のため連絡がとれない
- ② 医療機関からの受診結果報告が確認できず受診状況が不明の受検者がいる



- 未告知者はどのくらいいるのか
- どの性別、年代に未告知が多いのか
- 未告知者の中に陽性者はいるのか
- 受診状況が不明な陽性者はいるのか

調査の概要

◎調査期間：平成19年6月～21年10月

◎対象施設：県内全保健所（9施設）

◎調査項目：

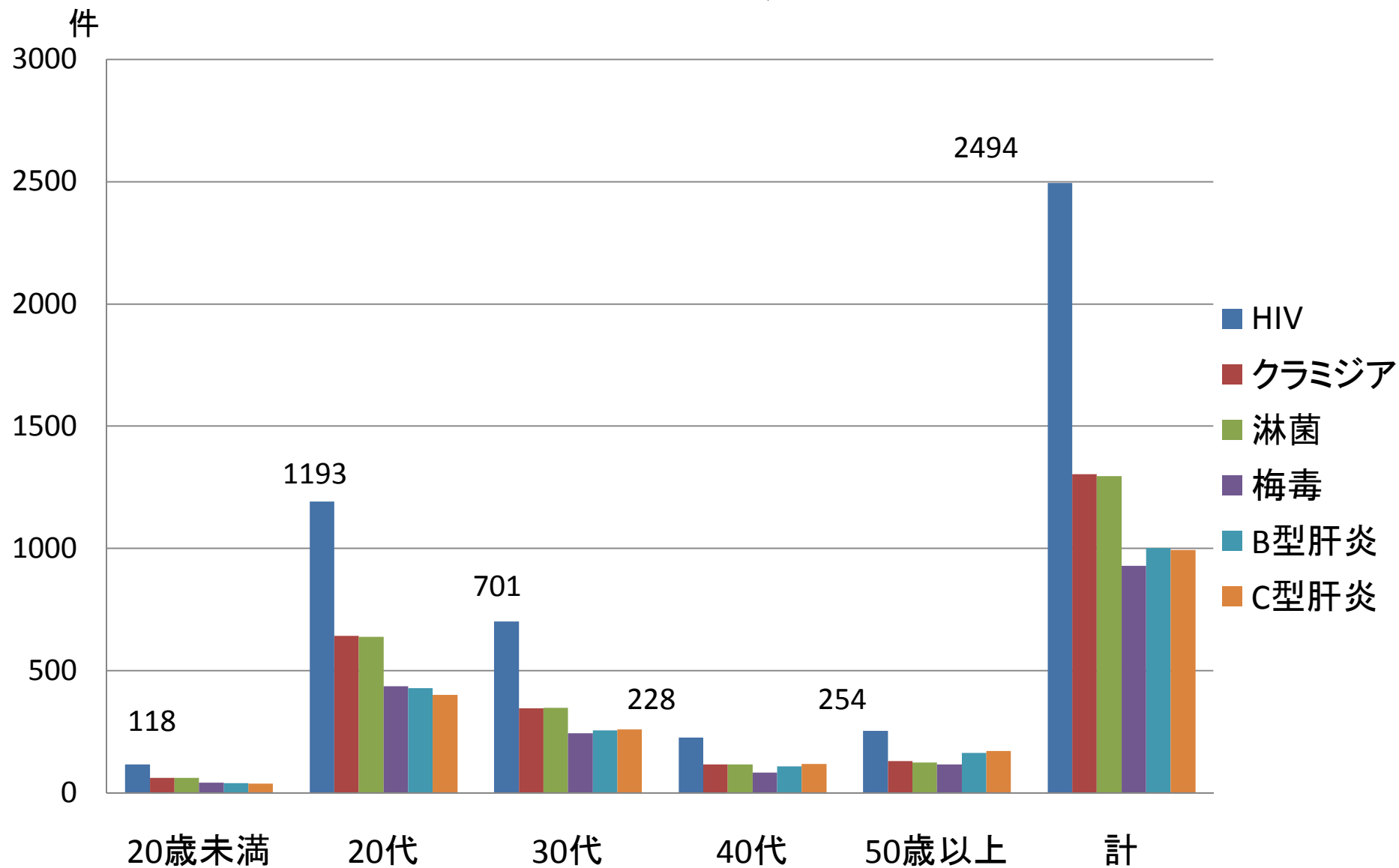
特定感染症検査6項目の実受検件数、
検査項目別受検件数および陽性件数を
性別、年代別に集計

〈注〉肝炎ウイルスのみの受検者は除外

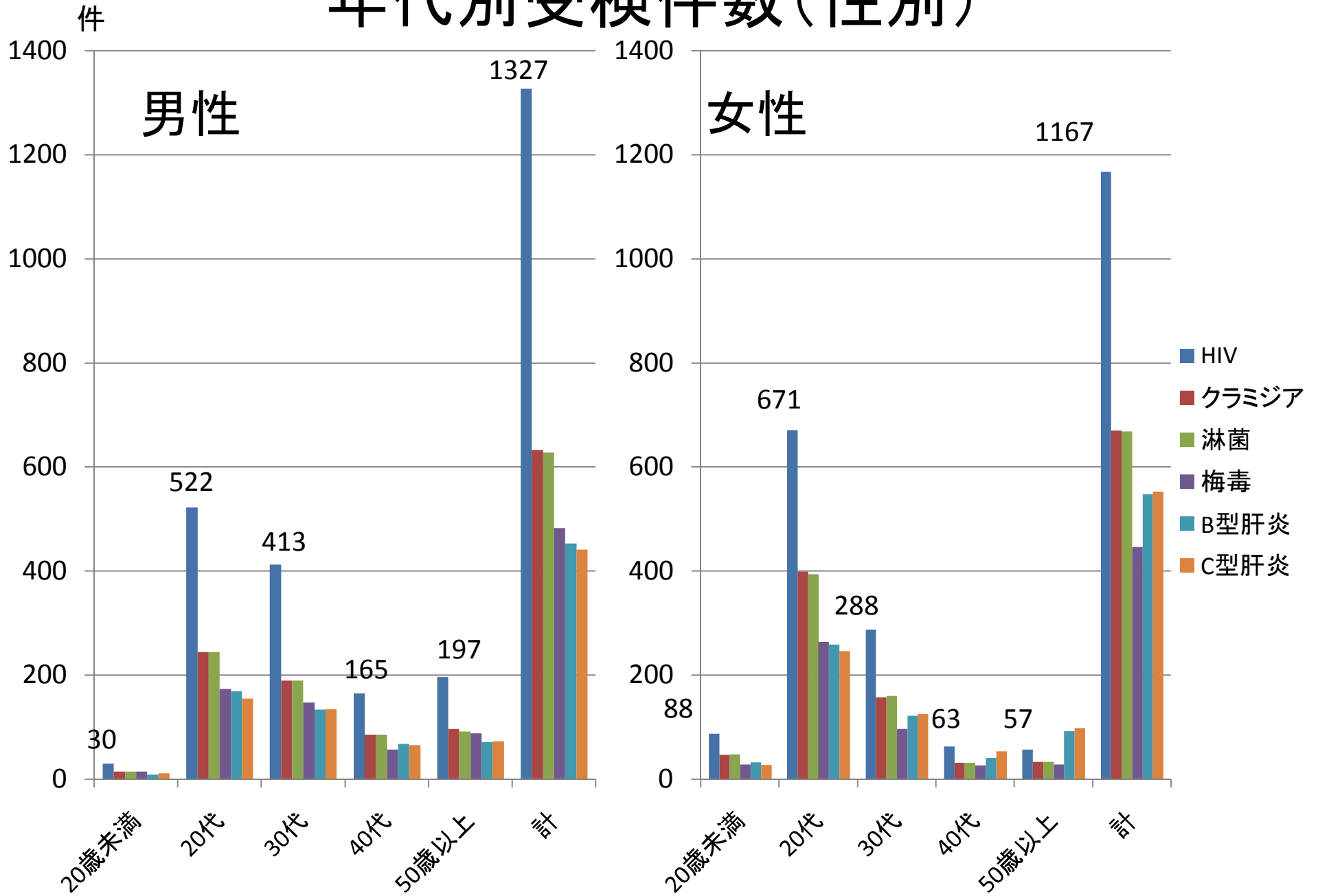
検査実績

		20歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	計
HIV	陽性/受検件数	0/118	4/1193	0/701	0/228	0/254	4/2494
	未告知中陽性/ 全未告知件数	0/1	0/2	0/1	0/0	0/0	0/4
クラミジア	陽性/受検件数	13/62	49/644	14/348	3/118	2/131	81/1303
	未告知中陽性/ 全未告知件数	1/6	5/54	1/23	0/2	0/5	7/90
淋菌	陽性/受検件数	1/63	5/639	1/350	1/118	1/126	9/1296
	未告知中陽性/ 全未告知件数	0/6	0/54	0/23	0/2	0/5	0/90
梅毒	陽性/受検件数	1/44	2/428	3/245	1/84	3/118	10/929
	未告知中陽性/ 全未告知件数	0/6	1/50	1/23	1/2	0/6	3/87
B型肝炎	陽性/受検件数	0/42	1/429	2/256	1/109	1/165	5/1001
	未告知中陽性/ 全未告知件数	0/2	0/22	0/13	0/1	0/3	0/41
C型肝炎	陽性/受検件数	0/40	2/401	0/261	0/120	3/172	5/994
	未告知中陽性/ 全未告知件数	0/1	1/22	0/13	0/1	0/2	1/39

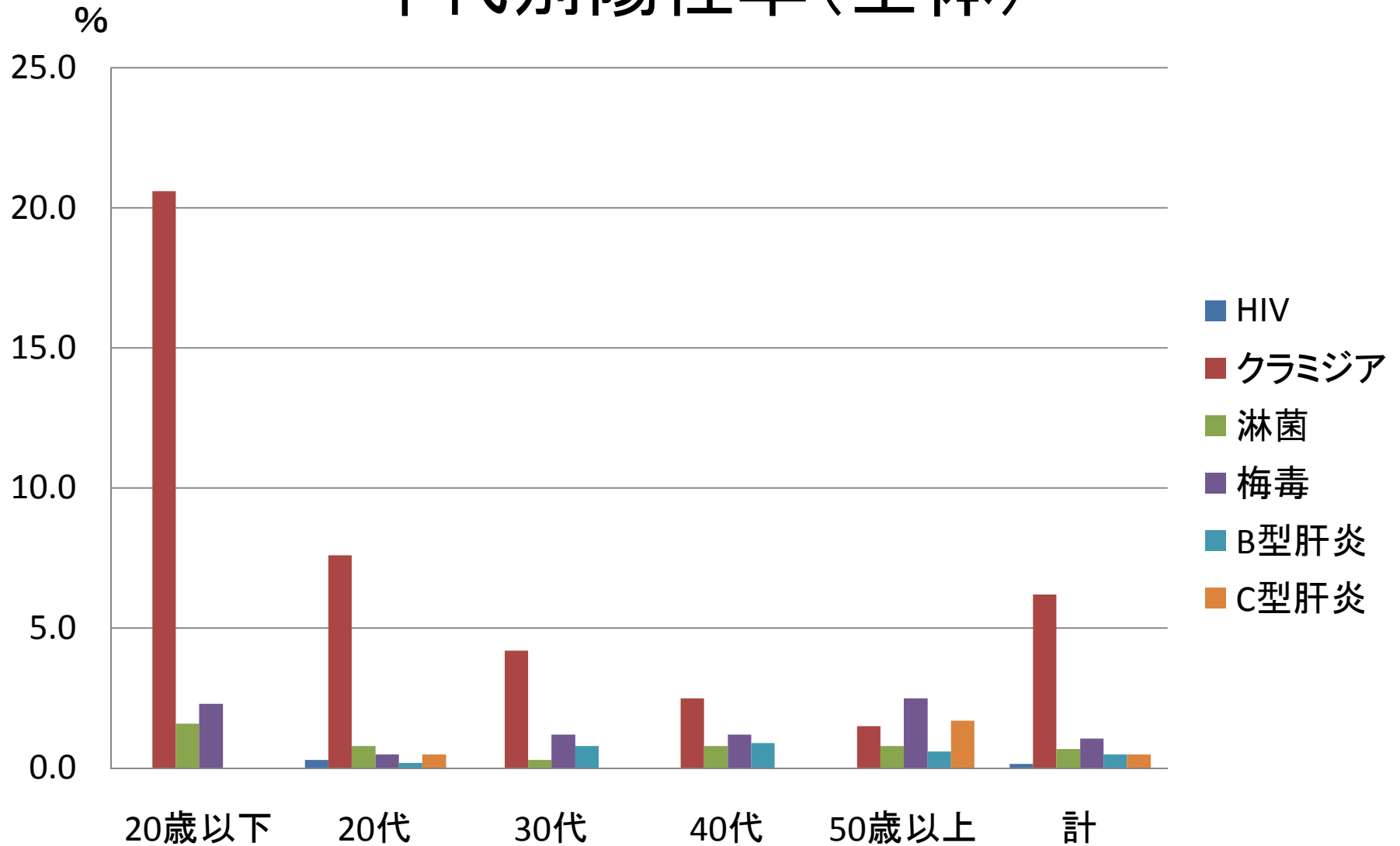
年代別受検件数(全体)



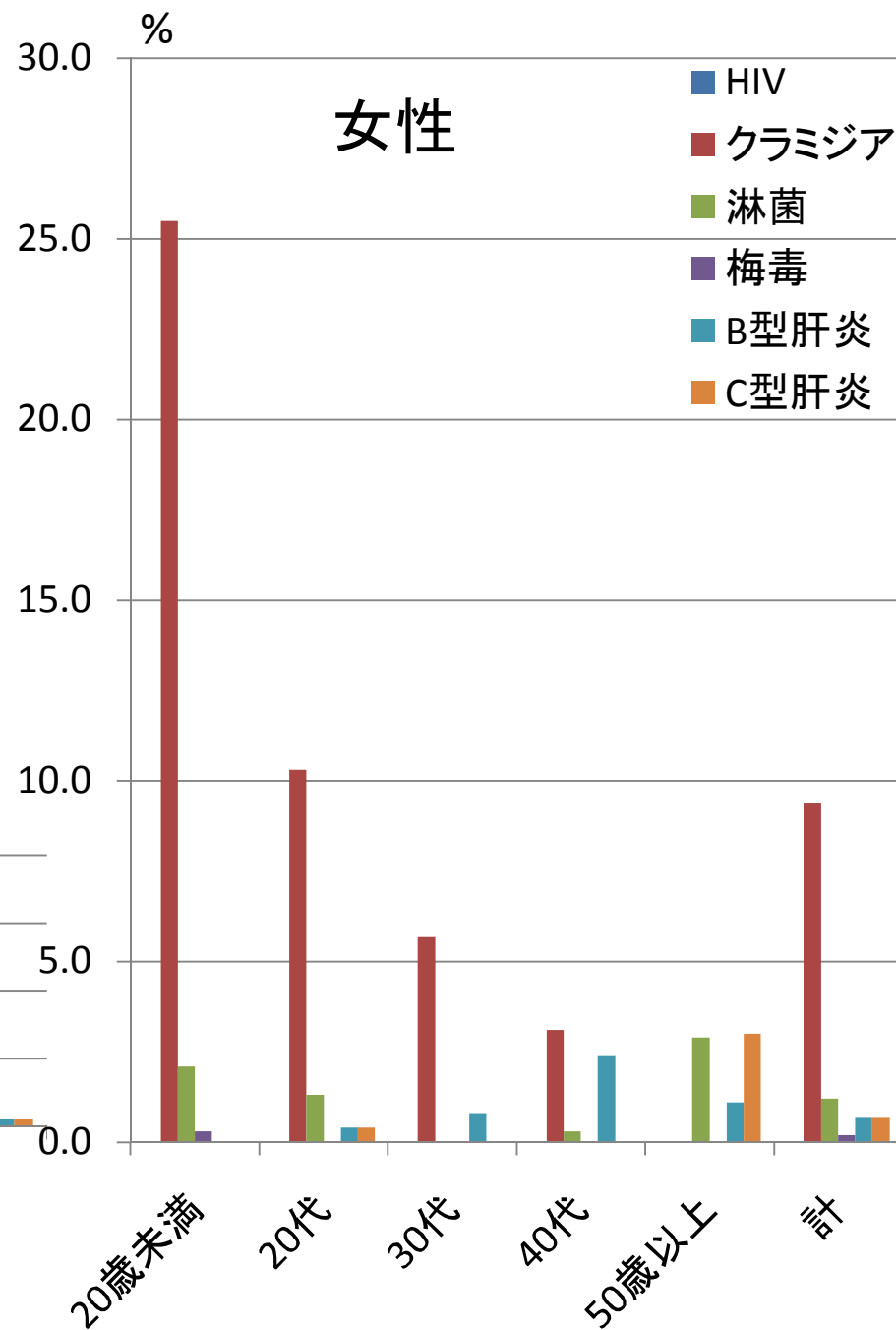
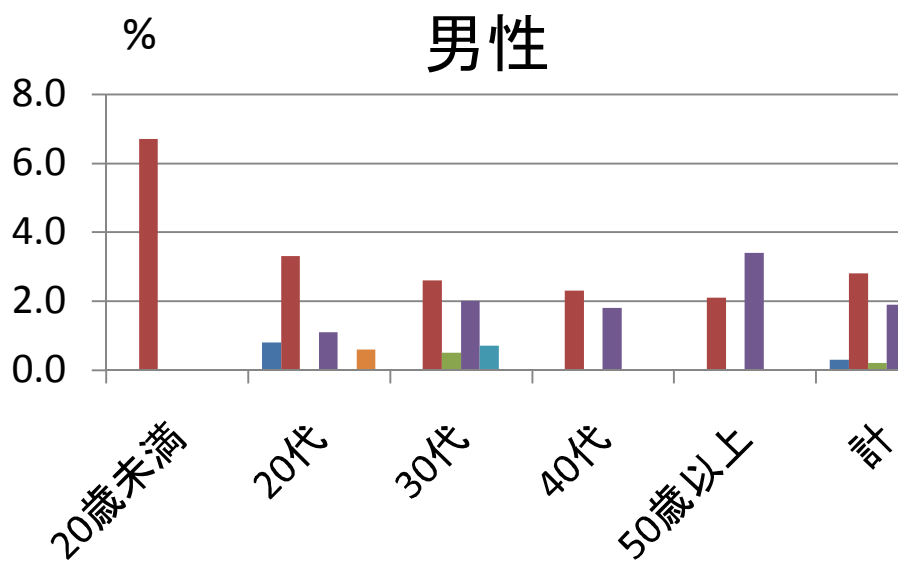
年代別受検件数(性別)



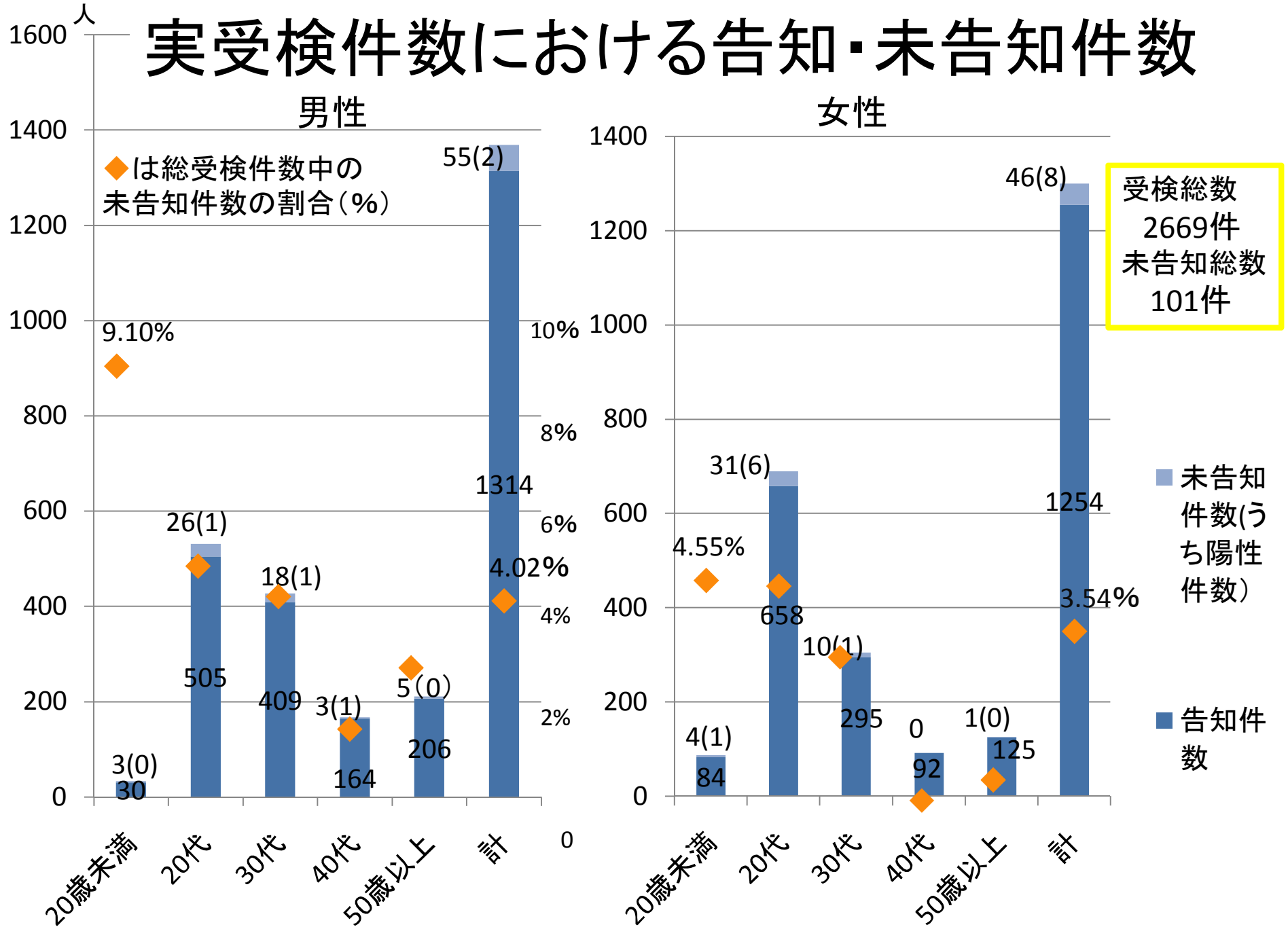
年代別陽性率(全体)



年代別陽性率 (性別)



実受検件数における告知・未告知件数



結 果

- * 実受検件数は、男性1369件、女性1300件、計2669件で、9割以上がHIV検査を受けている。
- * 受検件数は、どの項目も20代が最も多く、次いで30代。3番目は男性40代、女性は20歳未満。
- * 受検件数に占める陽性件数の割合は、20歳以下のクラミジアで最も高く、20%を超えている。
- * 実受検2669件中、未告知が101件で、うち11件が陽性（クラミジア7件、梅毒3件、C型肝炎1件）であった。

未告知件数を減らし受診につなげるには

●再来所しない(できない)理由を知る

- 〈予想〉
- ・受検者がHIV以外の性感染症を軽視している
 - ・時間の都合をつけるのが難しい
 - ・交通手段がない、来るのが面倒など・・・

●他に有効な告知方法はないか検討する

- ・(同意を得て)郵送、電話を導入した自治体も
→匿名の意義、承諾しない場合、情報セキュリティの確保

他にも未成年の対応、確実な受診の確認方法など

すぐに結論がだせない

県保健所長会から健康増進課へ要望

①担当者会議による指導内容の充実

②受検者へのアンケート実施

携帯電話等への通知

実名検査への意識 など

③医療機関への受診結果の返信依頼

④検査結果の評価の定例化

→検査のあり方・実施方法を引き続き検討

まとめ

- 1 保健所におけるHIV検査の受検件数は、HIV即日検査導入や検査項目追加以降、毎年増加していたが、平成21年には減少しており、今後も注意喚起や事業の周知・啓発に力を入れる必要がある。
- 2 一方で、HIV以外の検査項目は後日に告知するため、実受検2669件中101件が未告知のままであり、そのうち約1割が陽性である。
- 3 未告知者は若い世代に多い傾向があり、陽性者からの感染拡大、不妊の原因の放置等問題が大きい。
- 4 事業をより効果的に行うためには、匿名検査のあり方も含め多角的な検討が必要であり、すぐに結論が出せない。今後、検査の精度管理や受検者の意識調査などを行い、引き続き検討する必要がある。